



仙台ヘルステックコンソーシアム 2023年度 活動予定

仙台ヘルステック コンソーシアムとは

仙台市ヘルステック推進事業のもとで仙台市が運営する、ヘルスケア領域の事業に関心のある企業・組織から構成される団体です。当コンソーシアムでは、ヘルスケア領域の課題に対してICT技術やAI・ビッグデータ等を用いて解決を図ると同時に、解決アイデアに基づくヘルスケア産業創出に取り組む企業を支援することで、仙台における地域経済の活性化と健康福祉の向上を図ります。

課題解決 プログラム

仙台市の健康課題に対する
解決アイデアの実証を支援

仙台市での健康福祉における課題・テーマに対して、テクノロジーで解決する アイデア・ソリューションを募集

- ・テーマは仙台市における実際の健康福祉課題
- ・実証実験計画のブラッシュアップ、実証実験の実施を支援
- ・実証実験にかかる費用補助(最大100万円)

※東北に事業拠点をもつ中小企業、また、それらの企業と共同提案される場合は、費用補助対象となります。



応募締切

8月25日

実施期間

採択後(9月末頃)～翌年2月

詳細・お申し込みは
こちら

アイデア検証 プログラム

仙台市内の企業発となる
ヘルスケア領域ビジネス
アイデアの創出・事業化を支援

ヘルスケア領域課題をテクノロジーで解決するビジネスアイデアを募集

- ・ユーザー検証結果を得ることを主な狙いとした、試作開発やビジネスアイデアの検証を支援
- ・参加対象は、仙台市内に本社のある中小企業
- ・ビジネスアイデアの検証にかかる費用補助(最大100万円)

※試作開発や専門家に依頼する技術指導や助言、ユーザー検証のための経費・人件費などが、費用補助対象となります。



応募締切

8月10日

実施期間

採択後(9月上旬)～翌年2月

詳細・お申し込みは
こちら

継続支援プログラム

事業化・社会実装にむけて
継続的に支援

ヘルスケア領域において事業化・社会実装を実現するための活動を支援

- ・対象者は、東北6県に事業拠点がある仙台市HEALTH-TECH推進事業の過去採択企業
- ・事業開発の段階にあわせて、取り組みを継続するための活動費用の一部を補助



年度末に、取り組み成果を
まとめて発表

仙台ヘルステックコンソーシアムのプログラムに参加した企業から、
仙台市と共同で実施した実証や取り組みの成果を発表していただきます。
(2024年3月開催予定)

※本年度のプログラムでの採択事業者総数は、最大4件程度を想定

仙台ヘルステックコンソーシアム **会員募集中！**

ニュースレター購読のみの登録も可能です。詳しくはホームページをご覧ください

sendai-healthtech.com

仙台ヘルステック

検索



実証実験概要については、ウェブサイト

sendai-healthtech.com をご覧ください。

成果発表のアーカイブ動画や資料を閲覧いただけます。

仙台市の健康課題をテクノロジーで解決するビジネスプランコンテスト

仙台市の課題 > 行動データに基づく学生、働く世代の健康行動促進

スマートフォンアプリ『SPOBY』を活用し、環境面から市民の健康行動を促す

株式会社CUVEYES

- 『SPOBY』とは、車や電車の代わりに徒歩や自転車で移動することで、“脱炭素”を算出し、ポイント付与するスマートフォンアプリ。
- 実証参加者は、運動量をポイントで貯めて自治体からの“ご褒美”と交換。
- 『SPOBY』利用者の属性・運動量の変化から、市民の健康活動の行動変容を検証。



仙台市の課題 > 高齢者のフレイル予防

オンラインを活用したフレイルチェックと講座で予防の習慣化を支援

株式会社エス・エム・エス

- リアル＆オンラインで受けられる、フレイル予防を学ぶ座学と運動プログラム『生涯ゲンキ講座』と心身の機能低下をスマートフォンで手軽にチェックできる『フレイルチェック』を提供。
- 通いの場の協力を受け、主に高齢者を対象に、複数会場でのオンラインライブビューイング開催。1か所あたり約5～10名、計3回開催。
- 実証参加者のフレイル理解度、予防への取り組み意向の変化を計測し、フレイル予防への効果を検証。



仙台市の課題 > 負担の少ない高齢者見守り

「みいるも」を利用した新しい高齢者見守りの検証

産電工業株式会社

- 『みいるも』はカメラ・マイクを搭載しない利用者の尊厳に配慮した次世代型見守りシステム。温度、湿度、人感、照度の4つのセンサーで異変を検知し、緊急時には警備会社が駆けつけ対応。
- 実証参加者は、みいるもコンセントに指してリビングに置くだけで簡単利用。
- 利用者へアンケートを実施し、使いやすさや心身の負担感、安心感、等のフィードバックを高齢者見守りの仕組みや機器改善に活かす。



ヘルスケア領域における課題解決に取り組む事業者の実証実験を支援

フレイル健診システム「αFROW」

株式会社アルファシステム



- フレイルリスクを即時格付けするデジタル健診
- フレイル予防4要素(運動・栄養・社会参加・口腔)の測定から結果提出まで現状2時間で実現
- 健診当日中の結果提出で参加者の予防改善モチベーションを向上
- 健診結果を活用して自治体による継続的フォローにつなげられる



背骨を測る「背骨計」

株式会社weCAN_

weCAN_



- 肩こり、腰痛などの原因となる姿勢を把握し、矯正を促進する
- 眼鏡にセンサーデバイスを装着するだけで、姿勢不良を検知するとPC画面が赤く変化し、自律的な姿勢矯正を促す
- レントゲンなどでしか把握できなかった背骨の形状を、場所を選ばずリアルタイムに、経時的な変化含めて推定
- 肩こりや腰痛などのリスクを個々人に応じて推定する研究を東北大学医学部と行う

